



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第19巻
第7号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第19巻第7号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1973, 19(7): 638-638

ISSUE DATE:

1973-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121538>

RIGHT:

泌尿器科学紀要

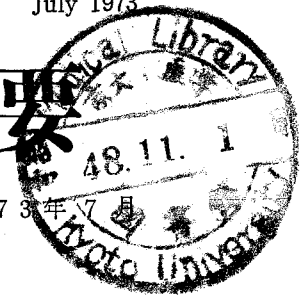
第 19 卷 第 7 号

京都大学

2320286

圖書

1973年7月



コイル型人工腎センターの経験と問題点.....	日台 英雄・ほか...551
上部尿路手術における背部垂直切開法 (Simon-Young incision) の検討.....	深見 正伸・ほか...559
腎に発生する黄色肉芽腫について一腎カルブンケルに発生した1例と 本邦症例の総括.....	豊田 泰・中野 博行...565
Renal Milk of Calcium Collection の1例.....	寺杣 一徳・真弓 研介・斎藤 宗吾...575
Prostaglandin F _{2α} のヒト尿管に対する作用について.....	岡 直友・和志田裕人・上田 公介・伊藤 栄彦...581
電気刺激による排尿：刺激位置と有効性との関係について (英文).....	近藤 厚生・松尾 功一・鳥居 肇...589
尿路感染症に対する抗生物質の尿中濃度の意義に関する実験的研究.....	三田 俊彦...595
睾丸腫瘍の1例.....	石橋 晃・平田 紀光・真下 節夫...607
HFSH キットおよび HLH キットによる LH-RH 負荷後の男子性腺機能 不全患者における FSH, LH の測定... 米沢 健三・中村 護・白井 将文・松田尚太郎...611	
山口大学泌尿器科学教室における1971 (昭和46) 年の臨床統計.....	酒徳治三郎・ほか...617
尿路逆行性感染に対する DKB の使用経験.....	福重 満・田戸 治・中野 博・仁平 寛巳...625
尿路感染症における ST 合剤の臨床的効果—nalidixic acid との二重 盲検法による検定.....	岡部達士郎・吉田 修...633
編集後記・購読要項・投稿内規	638

CONTENTS

17 Months Experience at A Coil Type Kidney Center: Re-appraisal of Long Term Hemodialysis by the Low Prime Coil Kidney	H. Hidai, et al...551
Dorso-Vertical Incision by Simon-Young for the Upper Urinary Tract Operations.....	M. Fukami, et al...559
Xanthogranuloma of the Kidney: Report of A Case associated with Renal Carbuncle and Review of Literature.....	Y. Toyoda and H. Nakano...565
Renal Milk of Calcium Collection: Report of A Case	K. Terasoma, K. Mayumi and S. Saito...575
Effect of Prostaglandin F _{2α} upon Human Ureteral Contractile Activities	N. Oka, H. Washida, K. Ueda and H. Ito...581
Micturition aided by Electric Stimulation: Relationship of Efficiency to the Site of Stimulation.....	A. Kondo, K. Matsuo and H. Torii...589
Significance of the Concentration in Urine of the Antibiotics for Urinary Tract Infection: An Experimental Study	T. Mita...595
Simple Cyst of the Testis: Report of A Case	A. Ishibashi, N. Hirata and S. Mashimo...607
Measurement of Plasma FSH and LH in Male Gonadal Dysfunction with Use of HFSH and HLH Radioimmunoassay Kit...K. Yonezawa, M. Nakamura, M. Shirai and S. Matsuda...611	
Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations in the Department of Urology, Yamaguchi University, during 1971	J. Sakatoku, et al...617
Use of DKB in the Treatment of Retrograde Urinary Tract Infection	M. Fukushige, O. Tado, H. Nakano and H. Nihira...625
Sulfamethoxazole-Trimethoprim Combination for Urinary Tract Infection: A Double Blind Study with Nalidixic Acid.....	T. Okabe and O. Yoshida...633

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

禁帯出

到着後1ヶ月間

編 集 後 記

前立腺癌のホルモン療法であまりにも有名なノーベル賞学者 C. B. Huggins 博士の講演会が、関西地方会主催で9月25日、大阪大学附属病院第2講堂でおこなわれた。「ホルモン依存性腫瘍」と題する約1時間の講演は、科学者のあり方についての教訓的挿入句によって聴衆をひきつけた。これはさらに9月30日夜、NHK教育テレビで放映された中原和郎博士との対談でも同様であった。そのいくつかをしるしておきたい。

「Discovery is our business」「科学者は全力を投入しなければ、すこしぐらゐの努力では自然は姿をみせない」「若いときは図書館で本を読むより手を血でよごすように心がけよ。本を読んで時間をつぶしても何も発見しないが、研究室におれば何かを発見する機会がある。読むべきは自然という書物である」「高い器械でも使えば安い。安い器具でも使わなければ高い。高い安いは使い方でできる」「研究室では協力精神こそ発見をうながす空気である」「科学は富士山に登るがごときものである」(T. T.)

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料2,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間12ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不用です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床尿泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書, Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等には実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。ご投稿のさい希望部数を申し込んでください。お急ぎのときは特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
10. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第19巻 第7号	1973年7月25日 印刷	1973年7月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
編集 友吉 唯夫	発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
